

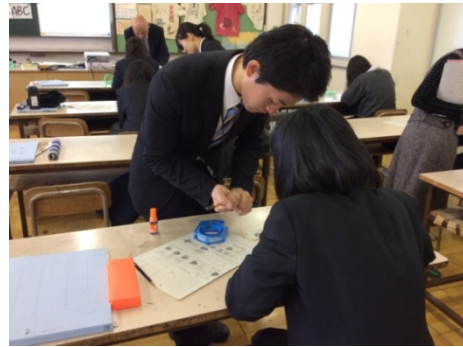
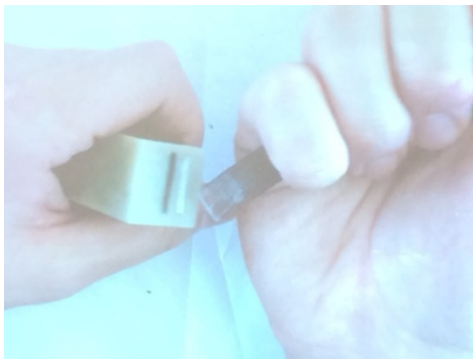
みどり清朋高校アクティブラーニング型授業通信 vol. 1

アクティブラーニング型授業とは生徒の参加型授業のことで、平成 30 年度からの学習指導要領改訂(高校の場合は平成 32 年度)の中に盛り込まれる授業形態です。

本校のアクティブラーニング型授業【生徒が能動的に「動き」、「考え」、「理解する」時間を多く取り入れた授業形態】について、不定期にご紹介いたします。

1. 2年エリア選択「書道Ⅱ」【担当：鈴木 孝肅先生】の授業報告

- ・ ※ループリックに基づく観点別評価の導入
ループリックとは生徒が到達すべき目標と評価基準を具体的、段階的に記述した上で達成度を多角的に評価する方法
- ・ iPadでとったビデオをプロジェクターを使用して投影し、やりかたをわかりやすく説明



学習活動に即した評価規準	評価基準	具体的な事項 (評価の総括につながる事項)
<p>【書表現の構想と工夫】 押印する作品と調和することをめざし、印稿の段階からアルファベットの特徴を活かし、字形や全体の構成を工夫する。</p>	<p>A 押印する作品と調和することをめざし、アルファベットの特徴を生かして印の構成を工夫したり、印面の形を工夫したりしている。</p> <p>B 押印する作品と調和することをめざし、アルファベットの特徴を活かして印の構成を工夫することができる。</p> <p>C 押印する作品と調和することをめざし、アルファベットの特徴を生かして印の構成を工夫することができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印面の形を工夫しているか。 ・ 押印する作品との調和を考えて構成を工夫しているか。 ・ アルファベットの特徴を活かして構成を工夫しているか。 ・ 誤字脱字がないか。

2. 2年「世界史A」【担当：三寄淳先生】の授業報告

- ・授業最初に新聞1面の記事について生徒に考えさせる。
- ・ICTは使用せずに※KP法により授業を進め、生徒をアクティブに
 KP法とは伝えたいキーワードをシンプルに書いて黒板に貼り付ける紙芝居プレゼン法のこと。KP法で検索すればユーチューブで様々な動画を閲覧できる。



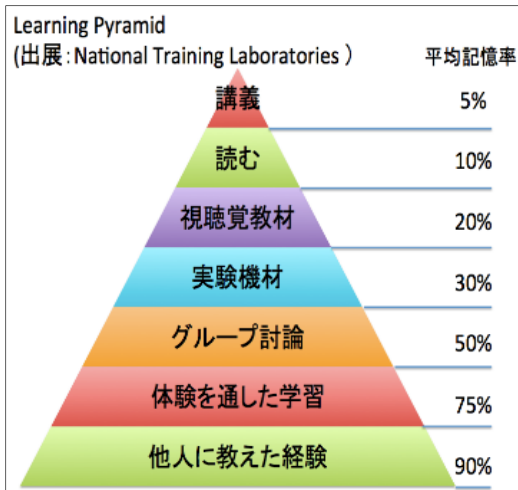
3. 3年「日本史B」【担当：今谷康太先生】の授業報告

- ・授業の手法と学習定着率を表したラーニングピラミッドを用い、生徒になぜアクティブラーニングを授業で取り入れているのかを説明し、ペア学習、グループ学習の際のグラウンドルールを提示
- ・KP法を用いて、めあて（この時間の理解すべき、到達すべき目標）を黒板に貼り付けるとともに授業最後に振り返りシートを書かせ提出させる。
- ・1時間、1時間のルーブリック評価表を生徒にも提示し、本日のQuestionを考えさせることにより集中力を高めている。
- ・生徒の理解スピードに合わせて、課題を完成した生徒が手持ちぶさたにならないように応用問題を提示

@本日の評価基準（ルーブリック評価）@		
A	B	C
藤原氏の進出の過程や方法についてきちんと理解したうえで、他者に説明できる。	藤原氏の進出の過程や方法についてきちんと理解する。	藤原氏の進出の過程や方法についてある程度理解する。

【グラウンドルール】

- ① **きくはきく はなすはなす ~傾聴のスペシャリストになるべし!~**
 →話し始める雰囲気を感じて、傾聴姿勢をとれるのがベスト！アンテナの感度を良くしよう！
- ② **フリーライダーにならない！**
 →…「フリーライダー」（他のメンバーに頼りっきりでその成果にタダ乗りする人）では授業に参加しても無駄な時間になるだけ！
- ③ **暇な人にならない！**
 →…「暇な人にならない」ために、「暇な人を作らない」ためにはどうすればよいか、意識できるようにしていきましょう！



他の人に教えたり、すぐに復習するのが一番身につきます！
話し合いも効果的！



振り返りシート

[本日の自己評価] (アクティブラーナー度&傾聴のスペシャリスト度) (○をつけよう)

5. 完璧です 4. ほぼOK 3. できたかな 2. まだまだ 1. 少しね 0. 活動停止

②本日の授業内で自分ができたことにを入れてみよう

会話する 質問する 教える 聞く (傾聴: 人の話を耳・目・心で丁寧に聴く)

クラスメイトへの感謝・謙虚さ (仲間を素直に受け入れる) リーダーシップを発揮する

状況を把握する 自分がフーライターにならない

4. 1年「社会と情報」の授業報告

- ・ルーブリックに基づく観点別評価を生徒同士の相互評価にも使い、生徒がすぐに自分がやったことに対してどのような評価があったのかを確認できる。

評価基準	S (4点)	A (2点)	B (1点)	C (0点)
発表態度	台本を見ずに聞き手のほうをみながら説得している。	聞き手のほうをみながら発表している。	台本やスクリーンを見ていることが多い。	聞き手を見ることなく、台本やスクリーンを見ている。
内容	大いに興味を持てた。	興味を持てた。	興味を持てなかった。	内容すら理解できなかった。
スライド	図形やイラスト、表やグラフなどを多く利用し、アニメーションもこだわっていて非常に見やすい。著作権に配慮している。	図形やイラストなどを利用し、デザインやアニメーションも見やすい。著作権に配慮している。	配色やフォントサイズなど、工夫をすべき部分が多くある。著作権や肖像権に配慮していない。	内容が全体的に薄い。著作権に配慮していない。
時間	2分00秒~2分10秒	1分55秒~2分15秒	1分50秒~2分20秒	短/長すぎる